

## 亀山御坊永代経法要のご案内

人はひとり生まれひとり去っていきます。その間多くの出会いと別れを体験します。娑婆では別れのない出会いはありません。親子も夫婦も兄弟も知友も必ず死別をもつて終わります。この時、残された者は断ちがたい恩愛の情にさらされて「いのち」の有り様と行く末を正面から問わざるを得ません。この仏縁を通して人は自らが何者であるかを知るものです。このように「さよなら」だけが人生の見方を決定づけるものです。「さよなら」は、今まで命を生きながら命に無知であった私が、共に生きた命との別れを通して始めて本当の命に触れることが出来るまれな機会です。

仏様はこの命の本性に向かって思案をし、考えを巡らし、願いをかけ、合掌しておられることを知ったとき、驚嘆せざるを得ません。ここから生・老・病・死を貫く命の全貌を明らかにするお念仏の世界がはじまります。

「さよなら」とは仏縁です。私が仏願を抛り所にした新しい自分に巡り逢うことです。このような命の依つて来たる由縁と行く末を自覚した自立的な生き方を菩提の道といえます。

**永代経法要**の源泉を探ると、この菩提の道を、わが子わが孫は勿論、一人でも多く方々に気付いてほしい、という先祖先達の永代の思いに突き当たります。

下記の通り永代経法要を修行いたします。ご参集下さい。ご案内申し上げます。

合掌

## 亀山御坊永代経法要日程

四月十一日(土)・十二日(日)

午前七時半 晨朝勤行 本堂・蓮如堂  
午後一時 永代経法要 本堂

導師 本徳寺 大谷昭仁師  
布教 浄専寺 藤岡良治師

お説経は、お勤めの後、蓮如堂で聴聞します。

## 蓮如忌法要のご案内

四月初旬、境内のサクラが満開になり、散っていきます。花命の短さを直視して永代経法要が勤まります。

ツツジが咲く頃、**五月十七日**には蓮如上人のご法要です。境内に梅檀の香りが漂う頃、仏さまのお徳を静かに感じながら、あらゆるもののお蔭を全身で頂き、たしかに仏縁にお会いください。

## 個別納骨壇利用のご案内

亀山本坊で自己管理型の納骨壇の利用が出来ます。ご相談の方は左記お問合わせ下さい。

問合先・本徳寺寺務所・電話(235)0242